

概要版

山武市総合計画 後期基本計画

平成25年度(2013年度)～平成29年度(2017年度)

誰もがしあわせを
実感できる独立都市 さんむ



山武市マスコットキャラクター
SUN△しくん



はじめに

山武市が合併して7年が過ぎ、「山武市総合計画」が策定されてから5年が経過しました。前期計画の5年間に、全ての学校が耐震化され、デマンドタクシーが走り、こども園が5園になり、コンビニで公共料金の支払いや証明書の発行ができるようになるなど、市民生活に根ざした成果を残してきました。

また、この間東日本大震災があり、大津波、原発放射能汚染を経験しました。国政においても2度の政権交代があって、社会的にも政治的にも混乱した激動の5年間でしたが、そうした困難の中で、山武市民の一体感が生まれたことが一番の成果かもしれません。

これから迎える後期基本計画の期間では、東日本大震災からの復興を成し遂げ、それぞれのコミュニティの底力を引き出し、魅力的な地域を創り上げていきます。一人ひとりが誇りをもって暮らせる地域こそ、私たちがしあわせを実感するための基盤です。山武市には、これから伸ばしていきたい魅力がたくさんあります。心に安らぎを与える田園や山林そして白砂青松の砂浜、これらの自然環境と調和した観光、成田国際空港の潜在力を引き出す国際化、首都へのアクセスを生かした定住促進、将来にわたって市民の健康を守り続けるさんむ医療センター。これらが有機的に結びつくことで、更なる発展が遂げられると信じています。

地方分権が進展する中、市民こそがまちづくりの主役です。市民、議会、行政が志を等しくして、社会の変化に対応しながら、しあわせを実感できる独立都市さんむの実現に向かいましょう。

おわりに、本計画の策定にあたりまして、熱心にご審議いただきました山武市総合計画審議会委員の方々や貴重な意見をいただきました多くの市民の皆様方に心から御礼申し上げます。

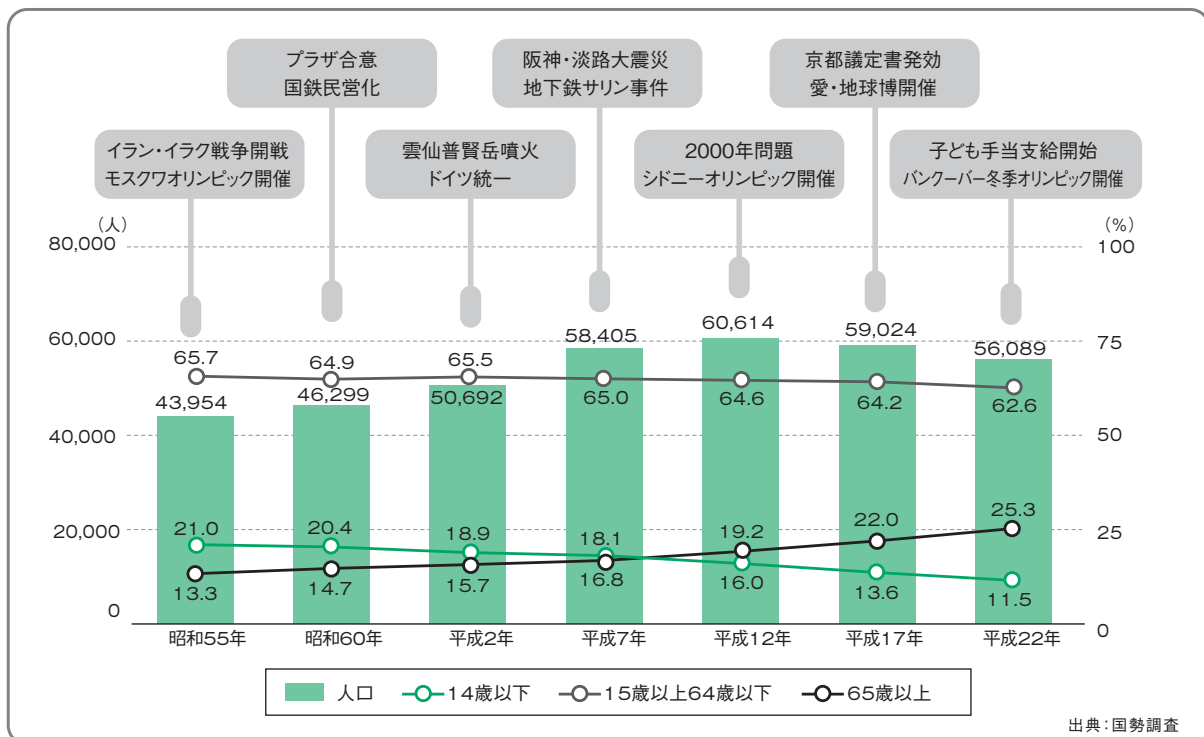


平成25年 3月

山武市長 榎 名 千 収

人口の状況

国勢調査による本市の人口は平成12年にピークを迎え、それ以降は減少傾向にあります。また、年齢区分別にみると65歳以上の割合が増加傾向に、14歳以下の割合が減少傾向にあり、全国的な少子高齢化の傾向が本市人口の年齢構成にもあらわれています。65歳以上の人口割合は昭和55年には13.3%で約8人に1人の割合でしたが、30年後の平成22年には25.3%で約4人に1人の割合となっています。



計画の構成

① 基本構想

基本構想は、平成20年度から平成29年度までを計画期間として、本市のめざす基本理念や将来都市像を示すとともに、それを実現するための基本政策(政策の大綱)を明らかにする長期計画です。

基本理念 「ともに手を携えて誇りを持てるまちづくり」

将来都市像 誰もがしあわせを実感できる独立都市 さんむ

政策1 暮らしを支える快適なまちづくり〔都市基盤の整備〕

政策2 住みやすい環境と安全なまちづくり〔暮らしやすい環境の整備〕

政策3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり〔産業経済の振興〕

政策4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり〔保健・福祉・医療の充実〕

政策5 生涯を通じて人と人がふれあい共に学びあえるまちづくり〔教育・文化の振興〕

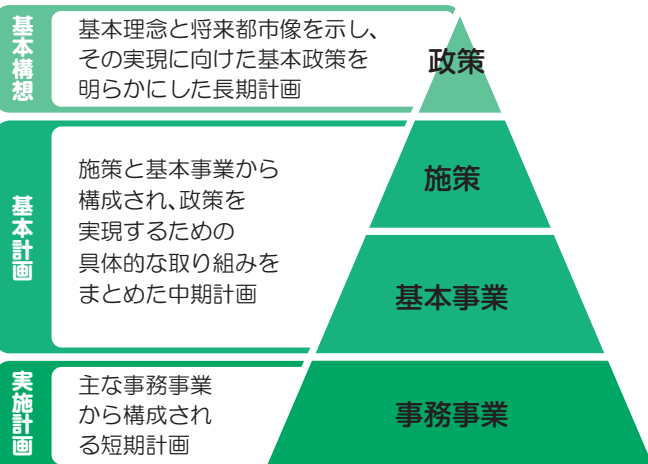
政策6 市民と行政が協働してつくるまちづくり〔コミュニティ推進と行財政の効率化〕

② 基本計画

政策を実現する手段としての施策と基本事業を明らかにするものです。

基本計画は、社会情勢や財政状況等を勘案し、5年間で取り組むべき具体的施策を定めた中期計画です。

今回は、平成25年度から平成29年度までの5年間で計画期間とする、後期基本計画を策定します。



③ 実施計画

実施計画は、基本計画で定められた施策をどのように実施していくかを具体的に示すもので、毎年度の予算編成や当面の行財政運営の指針となる短期計画です。実施計画は、3年間で計画期間として、進捗状況の把握や成果の評価を行い、毎年度ローリングを実施することにより見直しを行います。

計画の期間

基本構想、基本計画、実施計画の計画期間は次のとおりです。

年 度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
基本構想	基本理念、将来都市像、政策(10年間)										
基本計画	前期基本計画(5年間)					後期基本計画(5年間)					
実施計画											
前期・後期基本計画期間中の3年間を計画期間とし、毎年見直しを行います。											

前期・後期基本計画期間中の3年間を計画期間とし、毎年見直しを行います。

将来都市像を実現するための6つの政策

政策1 暮らしを支える快適なまちづくり【都市基盤の整備】

本市の顔とも言える駅周辺の利便性を向上させるための整備や潤いのある市街地整備を進め、生活重視のまちづくりに取り組みます。

防災・消防対策では、防災体制の整備を図り、地域防災能力を強化・向上させます。

また、災害に対しては迅速かつ確かな初動体制が重要であることから、地域防災計画を有効に機能させ、被害を最小限に抑えます。

政策2 住みやすい環境と安全なまちづくり【暮らしやすい環境の整備】

恵まれた自然環境と地下水を保全するため不法投棄の防止などに努め、すべての市民が快適で衛生的な生活を営むことができるよう、生活衛生環境を充実させます。

さらに、市民、行政、事業所が一体となり、ごみの減量や排出抑制に取り組むことにより、自然環境への負荷が少ないまちにします。

成田国際空港と周辺地域の更なる発展を期するため、空港との新たな共生・共栄の実現を目指します。

また、防犯対策については、住民、自治会等、事業者の防犯意識を高め、自主的な防犯活動を推進し、安心して暮らすことができるまちづくりを進めます。

交通安全対策については、市民、警察及び交通安全協会などと連携を図り、飲酒運転の撲滅や交通弱者（高齢者や子ども）が交通事故に遭わない環境整備に努め、安全で快適な生活空間づくりを進めます。

政策3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり【産業経済の振興】

農林水産業は、意欲ある担い手の育成や生産基盤の強化、森林整備等自然環境との共生を図った事業を展開します。

商業は競争力ある質の高い商業・サービス業店舗の立地を推進し、地域住民が利用しやすく、若者にも魅力ある商店街づくりを支援します。

工業では、新企業の立地促進を図り、新たな雇用を創出します。

観光業においては、夏期中心の観光から、通年型の観光地づくりを目指します。

政策4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり【保健・福祉・医療の充実】

高齢社会において市民だれもが生きがいを持って安心して暮らすことが出来るように、市民の健康づくりの実践支援、疾病予防などを推進するとともに、健康増進体制の充実を図ります。

また、介護保険事業計画を円滑に実施し、高齢者保健福祉計画に基づく元気な高齢者育成に努めます。

人として、誰もが平等に生きる権利を実現するノーマライゼーション*の理念のもとに自立支援に向けた障がい福祉を充実し、健全な子どもたちの育成、また近年急速に高まっている子育て支援の需要に対応する体制構築を図ります。

地域医療については、国の医療制度改革に大きく影響するものではありませんが、市民と行政が一体となり、最大限の努力をもって、市民のための医療体制の確立に努めます。

* ノーマライゼーション…障がい者や高齢者など社会的に不利を負う人々を特別視するのではなく、一般社会の中で普通の生活が送れるような条件を整えるべきであり、共に生きる社会こそ自然であるという考え方

政策5 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり【教育・文化の振興】

学校教育では「活きた学力」をはじめとする「生きる力」を育む教育の推進を図るとともに、一人ひとりの個性や人権を尊重した学校づくりと地域の人たちの声や想いを反映できる仕組みをつくります。

地域の教育では、学校・家庭・地域との相互理解や信頼関係を築くため積極的に情報を発信し、地域で子どもたちを育てていくという視点で「地域教育力」の向上に努めます。

家庭教育では、すべての教育の出発点であるという原点に立ち返り、家庭におけるしつけや基本的な生活習慣など「家庭教育力」の向上を推進します。

生涯学習では、芸術文化、スポーツなど生涯にわたって自ら学んでいける学習の機会を充実させ、健康で長生きの喜びを実感できるまちをつくります。

学校施設をはじめとする教育施設では、合併後大きく変わった環境の中で、適正な配置と安全・安心な施設整備を限りある予算の中で計画的に実施していきます。

また、家庭、学校、地域社会、職場など様々な機会をとらえて、人権教育、人権啓発を推進していきます。

政策6 市民と行政が協働してつくるまちづくり【コミュニティ推進と行財政の効率化】

市民が主人公の誇りあるまちづくりを進めます。

そのために、自治会などの地域での主体的な活動を活性化するとともに、ボランティア・NPOなどの活動支援などを行います。

市民活動施設の整備により、さまざまな組織やグループの連携を深め、多くの市民が自主的に活動を展開し、参加できる環境を整えます。

また、自立を目指すカギは健全財政の堅持であることから、町村合併に伴う財政優遇措置の終了を見据え、健全な財政運営を推進します。

政策
1

暮らしを支える快適なまちづくり【都市基盤の整備】

施策1-1 ▶ 道路網の整備・充実

施策の目指す姿 道路が整備されることで、安全な日常生活が実現し、利便性が向上します。

指標名	現状値	後期めざそう値
市道整備状況の満足度	62.3%	➡ (66.0%)

施策1-2 ▶ 公共交通網の整備・充実

施策の目指す姿 公共交通網が充実し、市民生活における移動の利便性が高まります。

指標名	現状値	後期めざそう値
公共交通網の満足度	39.7%	↗ (50.0%)

施策1-3 ▶ 防災・消防対策の充実

施策の目指す姿 市民の防災意識が高まり、地域の防災力が向上し、災害の被害が抑えられます。

指標名	現状値	後期めざそう値
災害の面で安心・安全に暮らせると思う市民の割合	55.4%	↗ (70.0%)

施策1-4 ▶ 都市の整備

施策の目指す姿 地域の特性を活かした機能的な都市施設の整備、計画的な土地利用及び地域固有の都市景観の保全がされ、まちの魅力度が向上します。

指標名	現状値	後期めざそう値
快適な街並になっていると思う市民の割合	61.1%	↗ (68.0%)

政策
2

住みやすい環境と安全なまちづくり【暮らしやすい環境の整備】

施策2-1 ▶ 生活環境の充実

施策の目指す姿 市民が快適に暮らせる生活環境を確保します。

指標名	現状値	後期めざそう値
快適な生活環境が整っていると思う市民の割合	40.7%	➡ (45.0%)
生活環境に関する苦情件数	605件	580件
航空機騒音を不快に感じる市民の割合	88.9%	➡ (88.0%)

施策2-2 ▶ 廃棄物の減量・処理の適正化

施策の目指す姿 ごみ排出量が減少し、安全に効率的に処理されます。

指標名	現状値	後期めざそう値
1人1日当たりのごみ排出量	733g	713g
再資源化率	17.3%	19.0%

施策2-3 ▶ 自然環境の保全

施策の目指す姿 市民や企業による自然環境保護の取組や地球に負荷を与えない行動が定着化し、市の豊かな自然環境が保全されています。

指標名	現状値	後期めざそう値
自然環境の満足度	80.1%	↗ (82.0%)

施策2-4 ▶ 上水道の充実

施策の目指す姿 市民が安全で安定した水道水を使うことができます。

指標名	現状値	後期めざそう値
給水戸数【市営水道】	2,482戸	2,946戸
給水戸数【広域水道】	10,691戸	11,297戸

施策2-5 ▶ 汚水処理の推進

施策の目指す姿 公共用水域の汚濁を改善させ、生活環境の向上を図ります。

指標名	現状値	後期めざそう値
BOD濃度 作田川(中流域)	2.6mg/l	2.0mg/l
BOD濃度 木戸川(中流域)	1.0mg/l	2.0mg/l
汚水処理世帯の普及率	44.3%	50.0%

施策2-6 ▶ 防犯対策の充実

施策の目指す姿 犯罪がおきにくく、安全なまちになっていきます。

指標名	現状値	後期めざそう値
人口1,000人当たりの刑法犯認知件数	12件	—
安全で安心して住めると思う市民の割合	62.1%	➡ (70.0%)

施策2-7 ▶ 交通安全対策の推進

施策の目指す姿 交通事故が少なくなり、死傷者数が減少します。

指標名	現状値	後期めざそう値
人口1,000人当たりの交通事故発生件数	4.1件	4.0件
人口1,000人当たりの交通事故死傷者数	5.2人	5.0人



後期基本計画 施策一覧

政策3

にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり【産業経済の振興】

施策3-1 ▶ 農林水産業の振興

施策の目指す姿 農業経営が安定し、所得額が増えます。
荒廃した森林が再生します。

指標名	現状値	後期めざそう値
農業所得	1,037百万円	1,171百万円
森林整備年間実施面積(累計)	162.8ha	206.4ha

施策3-2 ▶ 商工業の振興

施策の目指す姿 商工業が発展し、地域が活性化されます。

指標名	現状値	後期めざそう値
商品販売額	649億円	—
製造品出荷額	988億円	—

施策3-3 ▶ 観光の振興

施策の目指す姿 観光客が増加し、市の魅力が高まります。

指標名	現状値	後期めざそう値
年間観光客入込数	1,693,145人	2,200,000人
年間宿泊観光客数	49,752人	80,000人

施策3-4 ▶ シティセールスの充実

施策の目指す姿 市民一人ひとりが「わがまち」に誇りや魅力を感じ、市外から活気もたらされます。
市の知名度が上がり、市外から注目されます。

指標名	現状値	後期めざそう値
山武市の知名度	—	↗
山武市の特徴や良い点を近隣以外の人に説明できる市民の割合	19.0%	↗ (33.3%)

政策4

だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり【保健・福祉・医療の充実】

施策4-1 ▶ 高齢者福祉の充実

施策の目指す姿 高齢者が健康を保ちながら生活でき、自分の健康状態にあった福祉サービスが受けられ、地域生活が送れます。

指標名	現状値	後期めざそう値
健康だと思う高齢者の割合	54.6%	↗ (60.0%)
65歳から74歳までの高齢者で介護認定を受けずに生活している高齢者の割合	96.4%	96.5%
介護保険サービスの満足度	23.1%	↗ (25.0%)

施策4-2 ▶ 障がい者(児)福祉の充実

施策の目指す姿 障がい者(児)がその障がいの特性及び環境に応じて、地域で安心して自立し、社会参加できます。

指標名	現状値	後期めざそう値
障がいの特性及びその環境に応じて、就業している障がい者の割合(分母から重度障がい者を除く)	1.78%	2.17%
在宅で生活している障がい者の割合	96.9%	→ (97.0%)

施策4-3 ▶ 健康づくりの推進

施策の目指す姿 健康への意識が高まることにより、生活習慣病が減少し、健康な心身で生活を送り続けられます。

指標名	現状値	後期めざそう値
健康だと思う市民の割合	71.9%	↗ (83.0%)
生活習慣病死亡率	57.7%	60.0%
1人当たり総医療費	260,006円	301,500円

施策4-4 ▶ 子育ての支援

施策の目指す姿 子育ての不安を軽減することにより、適切な子育てができます。

指標名	現状値	後期めざそう値
子育てに不安を持つ保護者の割合	24.1%	↘ (20.0%)

施策4-5 ▶ 地域福祉の充実

施策の目指す姿 地域で相互扶助できていると思う市民が増加します。
市民が経済的に安定した生活が送れます。

指標名	現状値	後期めざそう値
地域で福祉の相互扶助できていると思う市民の割合	22.5%	↗ (30.0%)
自立による生活保護廃止件数	4件	6件



政策5

生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり【教育・文化の振興】

施策5-1 ▶ 学校教育の充実

施策の目指す姿 学校生活に満足している児童生徒が増加します。

指標名	現状値	後期めざそう値
学校生活に満足している児童の割合	96.3%	➡ (97.0%)
学校生活に満足している生徒の割合	93.1%	➡ (95.0%)

施策5-2 ▶ 生涯学習の推進

施策の目指す姿 生涯学習の環境が整い、学習の機会が増加することで、市民の学習への取組が活発化し、自己実現が図られます。

指標名	現状値	後期めざそう値
生涯学習に取り組んでいる市民の割合(全般的)	30.2%	⬆ (33.0%)

施策5-3 ▶ スポーツの振興

施策の目指す姿 継続的にスポーツを行うことにより、心身ともに健康な生活を営むことができます。

指標名	現状値	後期めざそう値
スポーツ活動に親しむ市民の割合	24.2%	➡ (25.0%)

施策5-4 ▶ 学校家庭地域の連携

施策の目指す姿 学校・家庭・地域が連携し、いきいきした子どもを育てます。

指標名	現状値	後期めざそう値
地域において子どもが健全に育成されていると感じる市民の割合	35.1%	⬆ (43.0%)
学校・家庭・地域が連携していると思う市民の割合	30.6%	⬆ (37.0%)

施策5-5 ▶ 人権尊重のまちづくり

施策の目指す姿 誰もが基本的人権が守られる地域社会になります。男女の不公平感が解消され、女性の社会進出の促進が図られます。

指標名	現状値	後期めざそう値
人権が尊重されているまちだと思う市民の割合	46.5%	➡ (50.0%)
あらゆる分野で男女が対等に参画していると思う市民の割合	27.2%	➡ (35.0%)

政策6

市民と行政が協働してつくるまちづくり【コミュニティ推進と行財政の効率化】

施策6-1 ▶ 協働と交流によるまちづくり

施策の目指す姿 まちづくりや公共について、市民と行政が共に考え、共に実践していく協働参画型の組織などが増加します。異文化交流が活発に行われ、相互理解が深まります。

指標名	現状値	後期めざそう値
市民活動(地域活動)に参加している市民の割合	38.1%	⬆ (40.0%)
NPO・ボランティア活動をしている市民割合	13.5%	⬆ (20.0%)
市民と行政との協働ができていると思う市民の割合	50.6%	⬆ (60.0%)
異文化交流に関わっている市民の割合	14.7%	➡ (18.0%)

施策6-2 ▶ 開かれた市政

施策の目指す姿 市政情報が適切に市民に伝わるとともに、市民の意見が市政に取り入れられています。市政情報が公開され、個人情報に保護されています。

指標名	現状値	後期めざそう値
市政情報の提供の満足度	82.7%	➡ (84.0%)
多様な市民の声を取り入れる仕組みとなっていると思う市民の割合	62.6%	➡ (64.0%)

施策6-3 ▶ 計画的・効率的な行財政運営

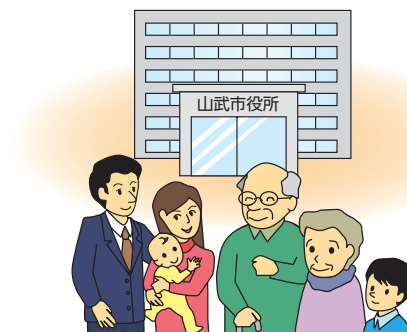
施策の目指す姿 計画的・効率的・効果的な行財政運営が行われています。

指標名	現状値	後期めざそう値
施策目標の達成率	50.0%	70.0%
計画的・効率的な行財政運営の満足度	60.2%	⬆ (65.0%)

施策6-4 ▶ 公正確実な事務の執行

施策の目指す姿 職員のだれもが、公正で確実な行政サービスを提供できます。

指標名	現状値	後期めざそう値
公正確実な事務の執行の満足度	68.3%	70.0%



市の木・市の花・市の鳥



杉



野 菊



うぐいす

平成18年に、山武市の気候に適しており親しみやすい「市の木」、「市の花」、「市の鳥」を募集したところ98点の応募がありました。この応募により件数が多かったものと、旧町村で採用していた「木」「花」「鳥」を加えて4点を選出し、市民アンケートを実施しました。その結果、1,142件の回答のうち最も多かった「杉」「野菊」「うぐいす」を、それぞれ指定しました。

市 章



太陽に映える恵みの大地と太平洋をイメージしました。

山武市の頭文字「山」をモチーフに、未来を拓く新しい風を感じる躍動感に満ちた山武市の姿を表現しています。

市のキャラクター



山武市マスコット
キャラクター
SUNムシくん

『SUN(サン)=太陽』と『ムシ=テントウムシ』を組み合わせたキャラクターです。サンサンと輝く太陽(おてんとうさま)の明るさと、大空に向かって飛び立つテントウムシで、山武市の明るい未来を表現しています。テントウムシの模様を活かし、SUNムシくんの頭は、山武市の名産、いちごの形をイメージしています。



山武市経済・産業活性化
キャラクター
むーちゃん

いちご・山武杉・海・プールなど、山武市の魅力から生まれたキャラクターです。いちごの栽培に欠かせないミツバチに似ていると言われるが、虫ではなく妖精。耳のように大きくなった触角で、市民の声や心をキャッチします。お腹の3つの「む」がトレードマーク。正式名は、むーみっつ・ハニー。

—山武市は4つの宣言をしています。—

● 山武市非核平和都市宣言

● 税金を大切に使うまち宣言

まちは、税金でつくられます。
その税金には、市民の汗と努力が込められています。
行政に携わる者は、常にこの事実を認識し、行動することが求められます。
未来のこどもたちの幸せのために、行政と市民は、それぞれの役割を果たし、税金の無駄遣いをなくすことに努めなければなりません。
この取組みが市の財政を健全に保ち、わがまち発展の礎となることを強く確信し、ここに「税金を大切に使うまち」を宣言します。

● 青色申告都市宣言

● 納税推進のまち宣言

山武市は、誰もが幸せを実感できるまちの実現を目指し、市民と行政が一体となって、まちづくりを推進しています。
納税は、市民の義務であり、まちづくりの根幹です。すべての市民が納税を正しく理解し、自主的に納付することで、住み良いまちはつくられます。
納税が市民の福祉を支え、わがまち発展の礎となることを強く確信し、未来のこどもたちの幸せに熱い思いを込めて、ここに滞納のない「納税推進のまち」を宣言します。

山武市総合計画 後期基本計画【概要版】

発行年月 | 平成25年3月
発 行 者 | 千葉県 山武市
〒289-1392 千葉県山武市殿台296番地
TEL:0475-80-1132
<http://www.city.sammu.lg.jp/>

編 集 | 総務部企画政策課